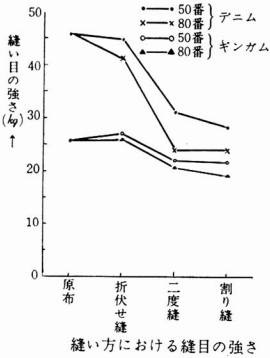


布の寸法は2の実験布と同じにする。布はブラウス、スカートの脇縫い目としてよこ方向とする。ひとつの試料につき5枚用意する。

3) 測定機械

シヨPPER型織物強伸度試験機

(2) 実験結果



縫い方による縫い目の強さは、割り縫いよりも縫い目2本の二度縫い、折り伏せ縫いの方が強い。しかし二度縫いの場合には引張り外力に対してまず1本の縫い目が引張られて切れ、ついで2本目の縫い目が切れるという切断のしかたで、縫い目の強さは1本の割り縫いと大差がない。じょうぶな縫いしろのしまつの方法としては、伏せ縫い、折り伏せ縫いがよい。

4. 縫いしろのしまつと洗たくによるほつれの関係

(1) 実験方法

1) 試料

実験布

実験布	繊維	組織	厚さ mm	糸密度	
				たて	よこ
ギンガム	ポリエステル65% 綿35%	平織	0.23	33	24
ブロード	綿 100%	平織	0.27	56	56
デニム	ポリエステル65% 綿35%	綾織	0.45	36	34
ネル	キュプラ 100%	平織	0.66	20	18
綿サテン	綿 100%	しゅす織	0.21	44	34

2) 縫いしろのしまつの種類と組み合わせ

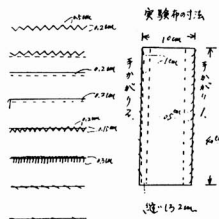
(ピンキング切り  
ピンキングと捨てミシン)

(捨てミシン  
折りはしミシン)

(ジグザグミシン縫い  
ベビーロック縫い)

(手かがり 1  
手かがり 2)

ひとつの試料につき4枚用意する。



3) 洗たくの条件

洗たく機 (東芝全自動洗たく機 銀河)

洗たく法

洗剤 弱アルカリ性合成洗剤 0.17%

浴比 1:30 (試料重量118g, 補充重量1.5kg)

温度 40°C

時間 洗たく 5分→排水3分→注水2分→すすぎ3分

排水 2分→脱水3分→注水2分→すすぎ3分

排水 2分→脱水5分

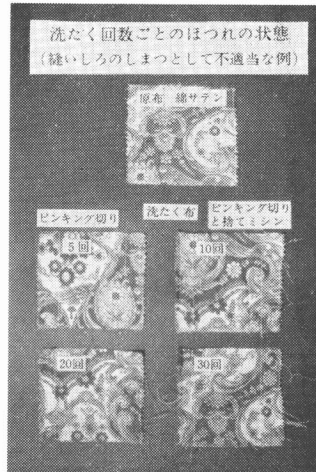
回数 5回, 10回, 20回, 30回

自然乾燥

試料は補充布 (天じく木綿) に分散させて中央を縫いつけておく。

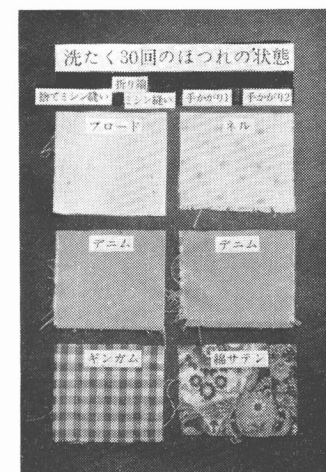
(3) 結果および考察 (30回を対象として)

1) ピンキング切り・ピンキング切りと捨てミシン



ピンキング切りのしまつをしたものについては、ブロードはほつれにくくピンキング切りの谷のところでとまっているが、デニム、綿サテンは谷より更にたて糸が直線的に剝離し、ブロードより4~5倍のほつれを示している。ピンキング切りと捨てミシンの併用の

方は、捨てミシンの効果をみたわけであるが、ある程度のほつれおさえにはなるが、デニムなどは20回からミシンの縫い目も剝離



しはじめ、デニム・ギンガムのようにほつれやすい布に対してはほつれ防止にはならない。ブロードのようにほつれにくい布には不必要である。

ピンキング切りを使用するものは美的な面からほつれにくい布に、また洗たくの必要の

ないものに限られる。

2) 捨てミシン, 折り端ミシンのほつれ